

企画趣意書

第90回 日本産業衛生学会

学会テーマ

「産業保健近未来図」

産業看護フォーラムテーマ

「戦略的な実践事例から考える—
会社や組織から求められる産業看護職像」

日時 2017年5月11日（木）～13日（土）

会場 東京ビックサイト TFTビル

主催 日本産業衛生学会

学会長 柳澤 裕之 先生（東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座）

概要

1. 会議の名称：日本産業衛生学会 産業看護フォーラム
2. テーマ：戦略的な実践事例から考える—会社や組織から求められる産業看護職像

<テーマ設定の背景>

産業構造の変化、就業形態の変化などにより、従来の有害要因に焦点を当てた労働衛生対策のみではなく、新しい法令や制度の導入が行われてきた。今後は、社員の健康を企業の重要な資産ととらえ、多角的、戦略的に産業保健活動を展開し、会社組織や職場組織に貢献できる産業保健職が求められる時代になるだろう。このような潮流の中、産業看護職は個別支援にとどまらず、会社組織に対して、健康保持増進の戦略的な施策を企画、実行していく必要がある。

そこで本シンポジウムでは、戦略的に産業保健活動に取り組む3名の方の実践報告と企業側のお立場の方にご登壇をお願いした。

はじめに、東京海上日動火災保険(株)の古川晴子先生より、長年の産業保健活動を公的評価(安全衛優良企業認定、健康経営銘柄選定)に繋げた事例をご報告頂く。次に、伊藤忠テクノソリューションズ(株)の金森悟先生より、ICT分野の事業を担う会社の特徴を生かし社内ソリューションを活用したICTによる集団支援の事例を、ソニー生命保険(株)の福元舞子先生より、職場風土や社員の特性に合わせた産業保健活動の事例をご報告頂く。最後に、キヤノン(株)の田原弘巳先生より、産業看護職への期待についてお話を頂く。

フォーラム後半のフロアを交えた意見交換では、今後の産業保健活動における産業看護職の活躍と飛躍の可能性を議論し、求められる産業看護職像について考えていきたい。

3. 主催・後援：
主催 日本産業衛生学会
後援 厚生労働省
4. 座長：
中野愛子(日本産業衛生学会関東地方会産業看護部 部会長・(株)日立製作所)
下山満理(日本産業衛生学会関東地方会産業看護部 副部会長・(株)富士通)
5. 開催日：
5月13日(土) 16:00~18:00

6. 会場：
第7会場（906）
7. 学会参加費：
学会員 8,000円 非学会員 9,000円
8. 学会全体参加予定者数：約3,000名（内、産業看護フォーラム参加者は300名）
日本産業衛生学会会員が8割、そのほか2割程度。
産業医や産業看護職、企業の衛生管理者など産業保健スタッフが主な参加者。
そのほか、大学教員（医学部や看護学部）や研究者等も参加予定。
9. 産業看護フォーラム内容：
- ・ 公的評価を活用して戦略的に産業保健を实践する
東京海上日動火災保険（株）人事企画部 健康管理室 古川 晴子 先生
 - ・ eラーニングを活用した集団支援の实践事例
伊藤忠テクノソリューションズ（株）人事部 健康支援室 金森 悟 先生
 - ・ 職場風土や社員特性に応じた産業保健活動の展開事例
ソニー生命保険（株）総務部 ウェルネスセンター 福元 舞子 先生
 - ・ 企業組織の求める産業看護職
キヤノン（株）人事本部 安全衛生部 田原 弘巳 先生
- ※各シンポジストから20分ずつ講演、40分間で意見交換予定
10. 日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度申請予定
11. 問い合わせ先
（株）日立製作所 ICT事業統括本部 人事総務本部
京浜地区産業医療統括センター 中野 愛子
TEL：03-5471-2704（ダイヤルイン）
E-mail aiko.nakano.hf@hitachi.com

以上